

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

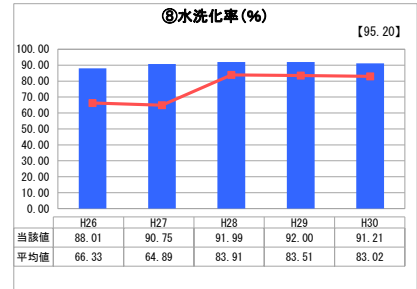
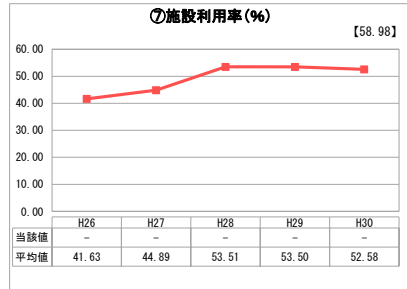
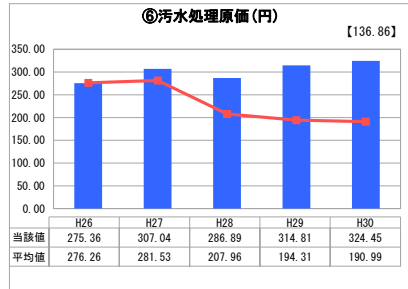
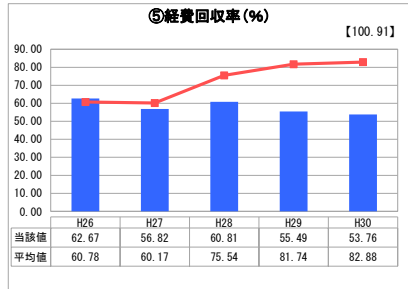
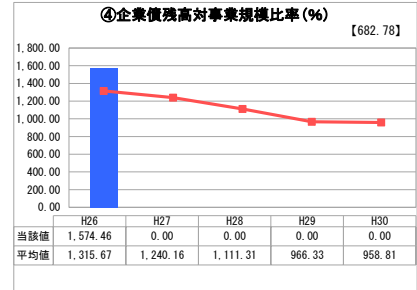
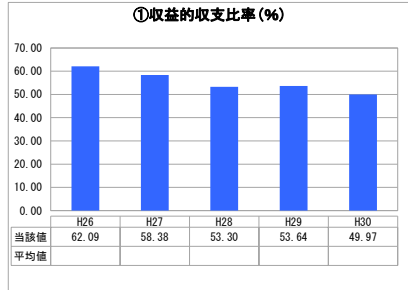
山形県 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合（事業会計分）

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	38.98	90.91	3,240

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,021	3.52	2,562.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

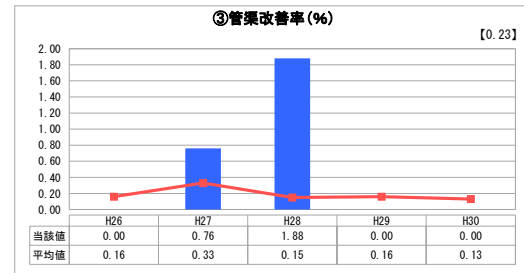
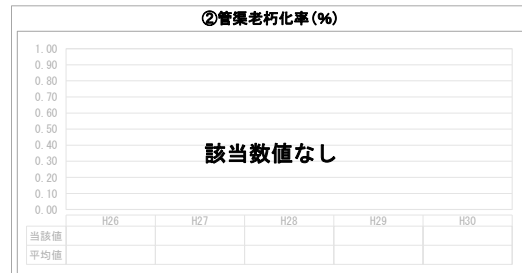
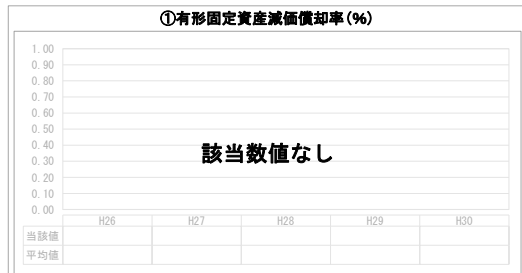
### 1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業は、資本費が膨大で地方債償還金及び支払利子が歳出の多くを占めていることから、使用料収入だけでは経費を賄いきれず、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。とくに地方債償還金が影響して収益的収支比率が低迷しているため、経費の縮減と合わせて適正な料金への改定が求められる。汚水処理原価については、類似団体の平均値と比べて大きく割離しているためこれまで同様更なる維持管理費の削減、接続率の向上による有収水量の増加が求められる。水洗化率においては、近年横ばいで推移している。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から18年経過している。定期的な管路点検を行っているが、管渠の更新の実績はない。圧送が必要な地区のマンホールポンプ等については、維持管理者からの報告書を基に修繕及び交換を行っている。また、マンホール等周りの沈下等による舗装修繕もを行っている。  
※決算統計時に誤って数値入力してしまったため、管渠改善率がH27、H28に出てきておりますが、管渠の修繕、改良、更新管渠延長の実績はありません。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

当組合における下水道事業は比較的后発であることから、マンホールポンプ等を除いて老朽化の問題は顕在化していない。中心部の整備が完了していることから料金収入の伸びしるには限りがあり、今後の維持修繕を踏まえ、持続可能な下水道事業を図るために更なる水洗化率の向上と維持管理経費の削減、適正な料金への改定を視野に入れて取り組んでいく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。